

五戸総合病院の研修を終えて

令和5年4月研修医

青森市民病院 初期研修医 庭田和旺

地域医療研修として五戸総合病院の外科兼内科で1か月間研修させていただきました。青森市民病院で内科・外科を1年間研修し、2年目の初月に内科・外科として今まで学んだことを日々活かす1か月となりました。内科外来、病棟管理、麻酔管理に手術、内視鏡、訪問診療と、今まで主治医の後ろで見学していたことを任せられました。初めはわからないことばかりで、院長先生や看護師さん、事務の方に質問しながら、右往左往する毎日であり、ご迷惑をおかけすることも多々あったと思います。五戸総合病院のスタッフは皆優しい方々ばかりで、1か月何とか仕事することができました。

私が五戸総合病院にきて、一番驚いたことは医師の少なさです。4月から移動の先生方が多く、常勤の内科・外科医が院長先生のみという状況であり、地域病院の医師不足の一端を垣間見えました。昨年までは一つの診療科で基本的に2か月診療を行い、その診療科の患者さんを主に診察するのみでした。救急外来でも基本的に他科へのコンサルトのみで、入院が必要な患者さんも、外来通院が必要な患者さんも自分で継続的に診療することはほとんどありませんでした。五戸総合病院では、常勤の内科医がいないため、重症でない限り、自分が入院し管理を行いました。外来に関しても、今までは近医・他科に紹介していた患者さんも、継続的に外来での診療をさせていただきました。途中、自分はいったい何科なのだろうと疑問に思うこともあり、このような状況下で働いている医師には敬意の念を感じました。今まで主治医のもとで診療に参加していましたが、この1か月間、基本的に自分のやり方で診療を行い、うまくいくこといかないこと沢山ありました。知識不足を痛感したり、時には成功体験で喜んだり、非常に内容の濃い1か月間でした。診療に躓いた時には嫌な顔せず答えてくださる院長先生がいて、病棟での指示の抜け漏れを温かく伝えてくれるスタッフがいて、ストレスなく医療に携わることができました。

最後になりましたが、1か月間大変ご迷惑をおかけすることもあったと思いますが、1か月の研修を受け入れてくださった五戸総合病院の方々に感謝申し上げます。外科・内科として指導してくださった安藤先生、一生思い出に残るだろう手術、本当にありがとうございました。この経験を忘れずに、外科医として成長していきますので、またいつか一緒に手術を行える日を心待ちにしております。また他科の先生方、看護師さんや事務の方々には大変お世話になりました。短い期間ではありましたが、非常に充実した研修をさせていただくことができました。本当にありがとうございました。